

豊かな水と緑を、次の世代へ――

暮らしを支える、ふるさと納税

ふるさとを応援したい！

暮らしの支えに活用！

ふるさと納税は、生まれ育ったふるさとや、観光でよく訪れるまちなど、応援したい自治体に行う寄付の事です。ふるさと納税をして必要な手続きを行うと、所得税や住民税の控除を受けることができます。

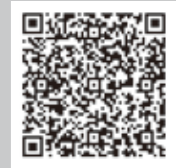
もともとこの制度は、生まれ育ったまちで教育や福祉の行政サービスを受けても、進学や就職などでふるさとを出てしまうと、人口が集中する都市部に税収が集中してしまうため、少しでもふるさとに恩返ししたいという気持ちを「寄付」に託す制度として生まれました。結果として、地方と都市部の格差を抑える役割を持っています。

高島市では、企業からの寄付も含めて、令和元年度に全国から6億円を超える寄付をいただきました。こうした寄付は、人口減少の課題を抱える高島市にとって、暮らしを支える大切な財源となっています。

全国からお寄せいただいた寄付は、保育料の完全無償化（国の制度で対象とならない乳幼児についても市独自で無償化）、妊婦健診の全額助成、中学生までの子ども医療費無料化（通院・入院とも）など、県下でも高水準の子育て施策に活用することで若者世代の移住につながるほか、メタセコイア並木などの観光資源の保全や魅力向上に活用することで、交流人口の増加を図っています。



市外にお住まいのお知り合いの方にもぜひ高島市へのふるさと納税をおすすめください。詳しくは市のふるさと納税ページをご覧ください。



市内限定 観光みやげを買って寄付！ 『セコイヤチョコレートとのコラボ』

市の観光名所メタセコイア並木とフルタ製菓株式会社のセコイヤチョコレートがコラボし、「メタセコイヤチョコレート」として市内で限定販売しています。この売上金の一部は市に寄付され、その額は累計2,336,100円となりました。寄付金はメタセコイア並木の整備等に使われています。



皆さんも市外にお住まいのご親戚やお知り合いに、高島市のふるさと納税や寄付を活用した高島市ならではの施策について、ぜひお知らせください。

☎ 総務戦略課 (25) 8114

ふるさと納税で皆さんからいただいた寄付金の使いみち

寄付者が選んだ使いみち	子どもたちが輝くまちづくりに関する事業	自然や水文化を活かしたまちづくりに関する事業	元気に安心して暮らせるまちづくりに関する事業	安全、便利で快適なまちづくりに関する事業ほか
平成30年度寄付金 (令和元年度事業に活用した額)	304,245,000円	103,600,000円	47,100,000円	25,000,000円
令和元年度寄付金 (令和2年度事業に活用予定の額)	261,583,000円	158,300,000円	139,100,000円	41,017,000円
具体的な使いみち	保育料の完全無償化や妊婦健診費用の全額助成、市内小・中学校のICT機器(タブレット)整備など	メタセコイア並木など地域の観光資源の保全や文化財の保全、観光施設の改修など	中学生までの子どもの医療費無料化や在宅介護用品の助成、障がい者や高齢者の交通利用助成など	防災行政無線の維持管理費や災害対策などのほか、OBC高島後援会運営費の助成



豊かな「恵み」、てんこもり。人気の返礼品をご紹介します！

一番人気はやっぱり「近江牛」

高島市にもあります「うなぎ」

手軽に楽しめる「とんちゃん」

発酵食文化息づく「日本酒(地酒)」

さらりとした肌触り「高島ちぢみ」

手作りのあたたかさ「高島帆布かばん」

※ふるさと納税で返礼品を受け取ることができるのは市外在住の方のみです。

【お米シェアプロジェクト】

市では、新型コロナウイルス感染症に関する支援企画として『コロナに負けない！「ふるさと納税で三方よし お米シェアプロジェクト」』を実施しています。この取り組みは、ふるさと納税の返礼品の一部（現在はお米のみの取り扱い）を寄付者の方からおすそ分けいただき、高島市内の食に不安を抱えているひとり親家庭などにフードバンクびわ湖を通してお届けする仕組みです。



※ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」のみの取り扱いです。

